



1 2学期スタート！！体育祭まであと8日！

2学期がスタートしました。2学期は体育祭、新人戦、桜加祭などの行事と、9月と11月に第2回、第3回の定期テストがあり、行事ごとに気持ちの切り替えが必要になります。また、1年生は総合的な学習で、10月12日(木)に農家訪問があります。もう一度、基本的な生活習慣や時間の使い方を見直すようにしましょう。

全校での体育祭練習が始まります。種目練習や応援練習も本格的になります。体調管理に気を付け、みんなで体育祭を盛り上げましょう！！

2 体育祭の活動予定～熱中症対策を！！～

体育祭練習が9月1日(金)まで連日続きます。水分補給をこまめに行い、また体調が悪いときは先生方や周りの友達にすぐに声がけをしましょう。各自で水筒、タオル、帽子(各自持ってきてください!)、替えの体操着などの準備をするようにお願いします。

また、体育祭週間に限らず規則正しい生活習慣を心掛けましょう。体育祭のプログラムと準備日程を記載します。見ておいてください。

(1) 体育祭までの準備活動計画

8月25日(金) 2学期始業式	
・全校種目・応援練習	14:40～15:30
・係打ち合わせ①、幹部活動 各教室	15:50～16:50
8月28日(月)	
・種目練習①(全校) 開・閉会式隊形作り ラジオ体操、大縄跳	3限 10:30～11:15
・終学活	14:25～14:40
・全校種目・応援練習	14:50～15:40
・幹部活動	15:50～16:50
8月29日(火)	
・種目練習②(全校) 綱引き(選抜リレー)	5限 13:30～14:15
・終学活	14:25～14:40
・全校種目・応援練習	14:50～15:40
・幹部活動	15:50～16:50
8月30日(水) 2限・1年 3限・2年 4限・3年 各学年種目練習	
・種目練習③(学年) (割り当てられた時間)	
・種目練習④(全校) 綱取り 絆リレー	5限 13:30～14:15
・終学活	14:25～14:40
・全校種目・応援練習	14:50～15:40
・係打ち合わせ②(必要な係のみ)、幹部活動各教室	15:50～16:50
8月31日(木) 体育祭予行練習(雨天の場合は予行を1日の3、4限に)	
・予行練習 開・閉会式、各種目の入退場	3、4限 10:30～12:10
	5限 13:30～14:15
	(3・4・5限) 14:25～14:40
・終学活	14:50～15:40
・全校種目・応援練習	15:50～16:50
・幹部活動	

9月 1日(金) 体育祭準備 予行予備日(3、4限)	
・種目練習⑤(全校)(種目の練習)	3限 10:30～11:15
・全校種目・応援練習	11:25～12:10
・終学活	12:30～12:45
・体育祭準備	13:40～
・部活動なし	
・完全下校	16:00

(2) 体育祭当日～2017年体育祭プログラム

選手入場	8:40～
開会式	8:45～
1 開式宣言 6 選手宣誓	
2 国旗・市旗・校名旗掲揚 7 競技上の注意	
3 優勝杯返還 8 閉式宣言	
4 学校長あいさつ < ラジオ体操 >	
5 生徒会長あいさつ	
午前の部	
応援合戦(応援席前5分間応援)	9:05～
1 1学年全員リレー	1年 9:15～ 9:25
2 2学年種目	2年 9:25～ 9:40
3 3学年種目	3年 9:40～ 9:55
4 絆リレー	全校 9:55～10:10
～休憩～	10:10～10:20
5 玉入れ 児童・幼児種目	10:20～10:30
6 2学年全員リレー	2年 10:30～10:40
7 1学年種目	1年 10:40～10:55
8 綱取り	全校 10:55～11:10
午後の部	
12:30開始	
応援合戦(本部前7分間応援)	12:30～
9 3学年全員リレー	3年 12:50～13:00
10 大縄跳び	全校 13:00～13:30
11 綱引き	鉦保護者 13:30～13:45
12 軍団対抗選抜リレー	選抜 13:45～13:55
応援合戦(エール交換)	
閉会式	14:10～
1 開式宣言	
2 成績発表 7 国旗・市旗・校名旗降納	
3 表彰 8 閉式宣言	
4 講評	
5 生徒代表あいさつ	
6 PTA会長あいさつ	
解団式	14:30～14:45

※ 天候、進行状況、その他の事情により、競技時間が前後する場合があります。

※裏面に第2回定期テストの範囲表を掲載しました。

1学年 第2回定期テスト出題範囲表

9月20日(水)					9月21日(木)		
1日目	1限	2限	3限	4限	2日目	1限	2限
1年	社	英	国	技	1年	理	数

教科	出題範囲	学習のポイント	持ち物・提出物など
国語	「クジラの飲み水」 「空中ブランコ乗りのキキ」 「文法のまど1・2」 「漢字のしくみ1」 「ことば発見1・2」 ○教科書 P 32～43 50～67 89～90 216～226 ○国語の学習 P 11～25 28、 30～36 51 99～104 ○単元別漢字 P 18～31 ○プリント 3 4 5 13	<ul style="list-style-type: none"> 教科書をよく読み、内容を理解する。ノートを見返し、授業の内容を振り返る。 プリント、ワークを繰り返しやる。 漢字は単元別漢字から出題するので、何度も練習して覚える。(およそ20問出題予定) 文法は毎回テストで出題するので、確実にできるようにする。わからないところは質問する。 漢字・文法・作文問題で確実に点数が取れるように学習計画を立てましょう。 	※提出物は、各担当の先生の指示に従うこと。
社会	歴史 教科書 P 6～51 ワーク P 2～29、57・ 58・59・60・ 61の⑥まで 資料集 P 4～36	<ul style="list-style-type: none"> 西暦と世紀、旧石器時代と新石器時代、四大文明、古代中国の統一、朝鮮半島の国々、ローマとキリスト教 旧石器時代の日本列島、縄文時代、弥生時代とくにの始まり 古墳の出現、大和政権と朝鮮・中国、渡来人の伝えた文化 中国と朝鮮半島の統一、イスラム教、聖徳太子の政治、飛鳥文化、律令国家への歩み 平城京、遣唐使、天平文化、貴族と農民、荘園 平安京、藤原氏の摂関政治、最澄と空海、国風文化と浄土の教え ワークの指定ページの繰り返し練習と用語の漢字練習を早めに自学等ですすめること。 ワークの解答・解説にある採点サポートや間違えやすい漢字を何度も練習しておこう。(例…たてあなじゅうきよの「堅」穴住居、はにわの「埴輪」…などです。) 	<ul style="list-style-type: none"> ワークはテスト前の指定した日時に提出すること。 ワークは○付けをすること。
数学	教科書 P60～88 P90～100 ワーク P28～49まで ○webテスト、過去問(7月) ○webテスト、過去問(9月)	<ul style="list-style-type: none"> 文字式～方程式(等式の性質)まで、授業ノート、webテスト、プリント類をしっかり見直すこと。 ワークのA、B問題を自信がつくまで何回も自学ノートにやると、点数が上がります。 C問題はわからなければ解答を見てよいが、よく考えてやり方をワークやノートにまとめることが大切です。 	<ul style="list-style-type: none"> 数学係は、テストの日の授業または終学活でワークを回収し、先生に提出する。 数学のテストでは、定規とコンパスはいつも用意しておくこと。
理科	○教科書 p 138～178 ○ワーク p 56～72 (「学習ノート」にやる) ○プリント 10、11、12	<ul style="list-style-type: none"> 鏡で反射する光の道すじと、凸レンズを通る光の道すじを作図できるようにしておくこと。 光の道すじと、像の見え方の関係をおさえておくこと。 入射角、反射角、屈折角、実像、虚像の言葉をよく理解していくこと。 音源の振幅・振動数と、音の大小高低の関係をまとめておくこと。 音の伝わる速さの計算問題を練習しておくこと。 力のはたらきについてまとめておくこと。 	<ul style="list-style-type: none"> テスト前にワークと「学習ノート」を提出する。 テスト返却後「テストの振り返り」とノートを提出する。
英語	○教科書 P 36～61 ○ワーク (E-Plus2) P 30～61 ○基本文練習ノート P 4～10 ○放送問題あり 【ポイントの文法・表現】 ・自己紹介文 ・一般動詞、複数形、命令文 ・疑問文 What ～? ・数のたずね方 How many ・値段のたずね方 How much	<ul style="list-style-type: none"> ワークやプリントを何度もくり返しやる。空欄の暗記ではなく、英文が書けるようにする。 夏休み課題もよく復習しておくこと。 単語や連語がきちんと書けるように何度も練習する。 教科書を何度も読み込み、書けるようにする。 ★自己紹介文を書けるようにする。 ★一般動詞の肯定文、疑問文、否定文を理解する。 ★疑問文(What ～, How ～)の意味や使い方、答え方を理解する。 ★一日の生活、季節と月を英語で書けるようにしておく。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークと基本文練習ノートは最低でもワーク用ノートに1回、直接書き込み1回の計2回はやる。 ワークと基本文練習ノート、授業用ノートは20日の終学活に英語係に提出する。

※ 技術家庭科は授業で範囲を発表します。